

# 宮つこだより

きらきらびと☆見つけた!

宇都宮文星女子高等学校  
ボランティアの皆さん



## うつのみや人づくりフォーラム 夢をはぐくむまちうつのみや

~未来へつなげよう!  
私の思い、みんなの思い~

開催ルポ!!



陽南中おやじの会の皆さん



大盛況の企業体験教室  
・林NTTドコモ栃木支店  
・柳下野新聞社  
・宇都宮ヤクルト販売㈱

■日時 2月19日(日)9:00~15:00  
■会場 宇都宮市立南図書館  
宇都宮工業高等学校  
■主催 うつのみや人づくりフォーラム  
実行委員会

第4回目となる今回は、過去最高となる約8,000名の沢山の市民の方々にご来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。今回のフォーラムは、世界中の子どもたちの笑顔のために活躍するユネスコ平和芸術家の城之内ミサさんのスペシャルステージをはじめ、「子どもたちの夢をはぐくむために私たち大人ができること」を実感できる「夢」と「感動」がいっぱい詰まった企画を多数取り揃え、会場には笑顔と感動が渦巻いていました。今後も「夢をはぐくむまちうつのみや」を築くために、みんながつながって、心豊かでたくましい宮っこを、そしてその輝く「夢」を市民総ぐるみではぐくんでいけるようご協力をお願いいたします。



夢をはぐくむ  
プロスポーツ体験教室  
・栃木サッカークラブ  
・リンク栃木ブルックス  
・宇都宮ブリッツェン



子どもたちの笑顔きらめく  
宇都宮工業高校ロボット教室

### ユネスコ平和芸術家城之内ミサさんのスペシャルステージ

#### 講演&演奏会

<心の平和と畏敬の念を音符に託して>

失語症に陥った過去、道しるべを示してくれた恩師との出会い、海外でのコンサート活動などいろいろな経験が、今の自分を支えてくれている。未来を担う子どもたちには、「自分との約束」を大切に、日々の目標を乗り越えていってほしい。それが「夢」へつながると信じている。音楽は、みんなをつなぐ架け橋。人を支え、寄り添い、導いてくれる。私もそれを信じて、聞いてくれるたった一人のために、そして、子どもたちの笑顔のために、これから音楽を奏で続ける。



### 子ども討論会

未来へつなげよう!  
私の思い、みんなの思い



「行動する力の源」について熱心に討論する市内中高生の皆さん。素晴らしい子どもたちの考えに触れ、大人も考えるきっかけとなりました。

### ドリームコンサート2012

<世界遺産トーチランコンサート Peace of mindキャンペーン In宇都宮>  
「夢」と「感動」がいっぱい詰まった心に響く演奏は、会場に感動の渦を巻き起こし、明るい未来へつながる架け橋を感じた素敵な時間となりました。



(コメンテーター) 城之内ミサさん  
佐藤 栄一 市長

### 教育委員コラム



宇都宮市教育委員会  
委員長  
藤原 宏史

「心と向き合ったときの自分の深層風景を日記にする言葉が音符になる」

第4回うつのみや人づくりフォーラムで講演していただいた城之内ミサさんの言葉だ。私たち一人ひとりの行動、その力の源は何だろうか?

この問いかけが、今回のフォーラムの一貫したテーマであり、きらきらと輝くたくさんヒントが舞台上に散りばめられていた。「楽しさや悲しみの数だけ音楽があり、表現がある。人生には無駄がない。その全てが私の肥やしになる」

失語症を克服するために始めたピアノ。心が紡ぎ出す彼女の音楽……。悲しい出来事や困難なことでもさえ、行動するエネルギーに変えてしまおう「心」の動き。この「たくましさ」こそ、宮つ子に求められる「心」のあり方ではないだろうか? 討論会に参加した子どもたちも目標や強い思いをもつ自分自身の「心」が大切だと語る。

ただ、その時、もう一つ大事なことがあると学生たちは口を揃える。彼らは、その「心」を後押ししてくれる周りの人たちの「存在」が大切だと感じていたのだ。

この点について、城之内さんは、小学生の時、恩師に導かれて作曲の道を決意したことや、28歳の頃、無名である彼女に対して敬意を持って接してくれた国立バリオペラ座管弦楽団の人の話を例に挙げて、次のような言葉で結んでいる。

「その人のいいところや存在に対して感謝をして迎える。迎えられた方はその場にいられることに感謝をし、だからこそ最大のことをやらなければいけない」

私たちが一人ひとりの行動、その力の源は何だろうか? 彼女が見つけた答えは、「存在」への「感謝の気持ち」だった。さて、皆さんならどんな答えを出すのだろうか?



中学生による「あなたのための  
お弁当コンクール」を開催  
うつのみや食育フェア大賞  
受賞者が全国大会でも入賞！

家族や友達のために考えたお弁当が実際に作ることで、調理技能を身に付け、食生活に関心もできるようなことを目的として、宇都宮市内の中学生を対象に平成18年度から「あなたのためのお弁当コンクール」を開催しています。

今年度は50組の応募があり、9月に第1次審査として書類審査を行い、10組が第2次審査に進み実技審査（参加9組）に臨みました。審査の結果、上河内中学校3年生の鶴川彩華さん、萩原久美さんが「うつのみや食育フェア大賞」を受賞しました。

さらに、11月に行われた栃木県大会（主催：栃木県中学校教育研究会技術・家庭科部会）の実技審査に上河内中学校と国本中学校が出席し、上河内中学校が第1位である「栃木県教育長賞」、国本中学校が第2位である「栃木県教育研究会技術・家庭科部会賞」を獲得しました。上河内中学校は全国大会に駒を進め、47都道府県の代表から書類審査で20組に入り、1月に女子栄養大学（東京都）で行われた実技審査に臨み、見事、栃木県代表者で初めに入賞（20組中8組）を果たしました。

# 地域とつながる学校

子どもたちにとってよりよい教育環境を築くために、協力して下さる地域・企業の方々が増えています。これからの教育の現場では、地域・企業のみならずの力が必要とされています。

中学生による「あなたのための  
お弁当コンクール」  
大賞作品のアレンジ弁当を  
民間企業とコラボレーションして販売！

「フアイト日本ーがんばれお兄ちゃん」のレシピをもとにしたアレンジ弁当を学校給食の調理業務にも携わっている「フアイト」株式会社と協賛期間に合わせて、市役所6階「やちや場食堂」で製造・販売（平成24年1月23日・27日）しました。

鶴川さんと萩原さんがお弁当に込めた思いや味を表現するために、打ち合わせを重ね、お互いに納得できるお弁当に仕上げました。二人からは、「兄や東北の方々に応援するつもりが、反対に私たちがたたくべきの方々の力を添えていただきました。本当にありがとうございました」と感謝の言葉がありました。

販売した「フアイト」株式会社の方々は、「子どもたちの熱い思いを強く感じ、作り手も一生懸命に作るという気持ちになりました」と話していただきました。

この取組に思いをもつてくださった市民の方も多く、販売期間中、連日売れ切れてしまいました。購入された方からは「手間をかけて作ってあった、おいしかった」、「献立のアイデアがとても良かった、などの意見をいただきました。」

学校での食育の取組や子どもたちの思いが企業の方添えに結び、市民の方へ伝わるような機会となりま



鶴川彩華さんと萩原久美さんの作品には、こんなメッセージが添えられていました。

このお弁当には、仕事をがんばる兄を元気付けたいとの思いと地元栃木の食材をいっぱい詰め込んであります。栄養バランスがよくヘルシーなだけでなく、食感とボリュームにこだわった満腹、満足なお弁当です。主菜は、主に気仙沼で水揚げされる「モロ」を使用しました。風評被害に惑わされない、食材をしっかり見極める判断力を私たちがもつことで、一日も早い大震災からの復興を応援したいです。

## 「フアイト日本！ がんばれお兄ちゃん！ 弁当」



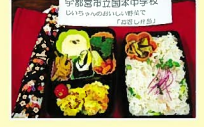
- 栃木もりもり三色ごはん  
栃木産のかんぴょうをいっぱい吹き込みました。彩りにもこだわりました。
- モロのピリ辛味噌チーズ焼き  
チーズこんがり七味の入った味噌でピリ辛。ご飯の温む一品です。熱した後でもおいしく食べてもらえるように工夫しました。
- 柚子とりごのゼリー  
上河内では、軒軒一本の柚子の木があるほど身近な食材です。金箔のようにキラキラさせました。今年1年音が聞けずすように。
- ぷりぷりエビシューマイ  
皮は揚げた、食感も味もシューマイに紅生姜を味のアクセントにしました。

- きんぴらとキャベツのもったいない巻き  
シューマイを蒸した後のキャベツもったいなく考えた一品。今回はさらに手間かけた特別製。
- モロの梅干風照り焼き  
梅干をたくさん使ったさっぱり仕上げました。モロの臭みも取れてしっとりおいしく仕上がりました。
- しいたけの野菜詰め  
しいたけも栃木の特産品。見た目は肉詰めでも、本当はシシトコンにんにく、ひき肉など食感にこだわった、他では味わえない香辛料。

企業コラボで商品化！



国本中学校（池田浩絏・竹之木進雅人組）  
じいちゃんのおいしい野菜で「お返し弁当」



城山中学校（下倉亜弓・池田このか組）  
さわやかスタミナ弁当



宮っこ  
食べっこ  
元気っ賞



愛情ももろ弁当  
～頑張ろう東日本From旭～  
旭中学校（塩澤萌水・森島由紀組）



体にやさしい孫ころ（真心）弁当  
陽南中学校（上野真依・水谷優里佳組）

### News

#### 学校応援制度

宇都宮市では、学校と企業の社会貢献活動を結び学校応援制度を昨年2月から実施。企業名が掲載された学校用物品の寄附を募集しています。

この呼びかけにたくさんの企業が応えてくれました。募集開始から今までの累計は、用紙10万枚、封筒8万枚、金額にして約80万円相当になりました。

ご寄附いただいた企業を紹介いたします

- ◎ 東京ガス株式会社宇都宮支社
- ◎ 宇都宮土建工業株式会社
- ◎ 有限会社ウインウイン
- ◎ 株式会社フケテ設計

いただいた用紙や封筒は、学校が保護者や地域の皆様へお知らせする通知などに活用させていただきます。

本日よりがとうございました。

学校応援輪を広げる取組は、学校教育の可能性や子どもたちの夢を広げることだと思えます。

宇都宮市は、企業市民の皆様にあたたかい応援エールをお待ちしております。



学校応援制度のご相談は？ TEL 028-632-2704  
宇都宮市教育委員会教育企画課までお気軽にお電話ください。

宇都宮市学校応援フラッグ  
フリー！フリー！プロジェクト

宇都宮市学校応援制度 検索

#### 宇都宮大学との連携による「小学校英語活動セミナー」



宇都宮市教育委員会と宇都宮大学では教育に関する理論及び実践上の諸問題について連携協力しながら研究調査や実践活動を行い教育の振興を図ることを目的として、連携協議会を平成18年に設立しました。「小学校英語活動セミナー」はその活動の一環として、平成21年度より毎年開催しています。

今年度は16名の先生が、月に一回授業が終わった後宇都宮大学に集まり、指導者である渡辺浩行教授のもと、授業の様子を撮影したビデオ視聴やワークショップ、参加者同士の情報交換を行いました。よりよい授業ができるよう研修に動んでいます。

参加している先生方からは、「指導法について、具体的なことを教えてもらえた」、「情報交換することで自分の課題が見えてくる」、「など好評です。」

平成24年度より全市で始まる小中一貫教育では、本市独自の小学校1年から中学校1年まで「英会話の時間」を設けますが、「セミナー」に参加している先生方は各学校での中心となって指導される予定です。



# 未来を築く交流活動

体験を通して、学ぶ・考える！

冒険活動センターでは、平成24年度から全市で実施される「小中一貫教育」に向けて、今年度より、地域学校園内の学校同士の交流活動を実施してきました。冒険活動教室で、他の小学校の友だちや中学校の先輩と触れ合うことで、小学生が中学校進学時に感じる不安を解消したり、地域のつながりを意識することのきっかけとなっています。

## つながりを生む交流活動

### 小学校同士の交流



城山中央小・城山東小・城山西小  
合同スポーツ大会

3校混合チームによるスポーツ大会を行いました。ゲームが進むにつれ、友だちとの距離がどんどん近づいていきました。



西小・西原小・宮の原小  
合同レクリエーション  
(仲間づくりゲーム)

3校の児童全員でからだを動かしながら遊びました。心もからだもほぐれて、みんな笑顔になりました。



瑞穂野南小・瑞穂野北小・瑞穂台小  
合同イニシアティブゲーム

混合グループで実施しました。新しい友だちと心もからだも近づける活動でした。

最初は、不安そうな表情をしている子どもが多く見られましたが、時間とともに笑顔に変わっていく様子が見られ、子どもたちの順応性の高さを改めて感じました。大人の心配をよそに、子どもたちは、積極的に関わり合っていました。さまざまな場面でのような交流の機会を多く設定することでさらに「豊かな心」や「コミュニケーション力」が培われていくことでしょう。



### 小学校と中学校の交流



瑞穂野地域学校園  
4校合同退所式

3日間で仲良くなった先輩や友だちとの別れ。2年後に中学校で一緒にいるのが楽しみです。



晃陽地域学校園  
合同キャンドルファイヤー

ろうそくを見つめ、静かな時間を一緒に過ごしました。晃陽地域のつながりを感じた時間でした。



河内地域学校園  
小中混合グループでの野外炊飯

中学生の先輩がやさしく教えてくれたので、安心してみんなで仲良く活動できました。



小学生と中学生の交流活動では、中学生が積極的に小学生をリードする姿が多く見られました。小学生に優しく声をかけながら園内を回ったり、野菜のむき方や道具の使い方を丁寧に指導したりと「さすが中学生」と感心させられました。小学校の先生方も卒業していった子どもたちの成長した姿に頼もしさを感じたようです。

今年度、地域学校園で交流した子どもたちは2年後には中学校で一緒になります。そんなことから交流活動のもたらす効果は大きいと思います。

冒険活動センターでの「交流活動」はきっかけに過ぎません。学校や地域での交流がさらに活発になり、心豊かでありたいと思つて今後子どもたちの支援をしていきたいと思つています。

この3団体は、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う「まちかどの学校」の趣旨に賛同していただき、「学校がきれいになるのは気持ちいい！」を合言葉に、およそ2か月に1度の割合で継続的に活動しています。たちまち草が伸びてしまふ夏夏は特に大変ですが、朝早くから大粒の汗を流し、慣れた手つきであっとい間にきれいにしてくれるばかりか、時にはアメリカシロヒトリなどの害虫駆除までしてください。

不登校状態にある児童生徒のための適応支援教室「まちかどの学校」は、50名以上もの市民ボランティアの皆さんに支えられた、全国的にも珍しい運営形態の教室として、県外からの視察も大変多い教室です。

ボランティアとして協力してくれる方には、様々な知識や技能、趣味や特技を生かして子どもたちの活動に直接関わってくださる方と、草取りや清掃など環境美化などの活動をとおして支援して下さる方がいらつしやいます。



黒木橋北部福寿会の皆様



各母子寡婦福祉会の皆様

除草作業の様子

「まちかどの学校」の環境美化ボランティアの紹介  
黒木橋北部福寿会、姿川地区母子寡婦福祉会、富士見地区母子寡婦福祉会



あなたの熱い思い、行動する力で  
ともに「夢をはくくむまちうつのみや」を  
築きませんか？

平成24年3月発行  
編集発行：宇都宮市教育委員会教育企画課  
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5  
TEL：028-632-2705 FAX：028-639-7159  
Mail：u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp